

地域に根ざした施設を目指す

触れ合って

絆の杜

支えあって

第37号 平成25年6月15日

発行所

社会福祉法人 光道園

鯖江 福井県鯖江市和田町9
TEL (0778) 62 - 1234 (代)
FAX (0778) 62 - 0890

朝日 福井県丹生郡越前町朝日22
TEL (0778) 34 - 1220 (代)
FAX (0778) 34 - 2099



4月1日のオープン初日に利用者・スタッフ一同でパチリ。
みんなで力を合わせて、地域の方に親しまれるお店を目指して新しい一歩を踏み出しました。

主な内容

「第二十九回光が丘ハウス杯ゲートボール大会」開催…P5

光道園らしさ… P2

「手づくり工房 フ・クレール」がオープンしました… P6

平成25年度 ひかり会・総会のご案内… P2

とらいとの二ヶ月を振り返って… P7

「点字毎日文化賞」五十年を振り返る… P3

新任職員の紹介… P8,9

厚生労働省から感謝状をいただきました… P3

情報開示… P10,11

一緒に走る～つつじマラソンに参加して～… P4

越前陶芸祭りに参加しました… P12



光道園らしさ

園長 荒木博文

光道園では、毎年度全体的な基本方針を立て、各施設・事業所が基本方針に基づき具体的な目標等を設定します。今年度も分野ごとに十五の基本方針を立てました。その中のいくつかを紹介します。

変わらない基本方針は、光道園らしさを基調としたサービス展開です。光道園らしさというと、盲重複障害者の専門施設であるということ。そして、その経験の中で培ってきた精神は「働く光道園」「学ぶ光道園」「一人ひとりを大事にする光道園」だとして具現化を目指します。その中で近年、盲重複障害者の方たちを取り巻く環境も変化が見られ、施設利用、入居申し込みは重度の方が多く、軽度の方の申し込みはほとんどない状況となりました。全国の盲重複障害者の方たちの状況がどのようになっているのか本年調査し、光道園の将来のあり方を検証したいと考えています。

次に、食事を全量おいしく食べていただく。これをスローガンとして取り組みます。全量おいしく食べていただくためには、安心・安全な材料で、個々の嗜好に合わせ、食事環境を整えることも大事だとは思いますが、個々の生活リズムに合わせた、離床・日中活動、水分補給、排せつ、食事形態・提供方法などの身体的要因や、作業や、余暇利用、対人関係などの精神的要因が相互に関連し大きく影響していると考えます。ここで必要なのが多職種協働による

支援だと思えます。その日々の支援が、皆さんにおいしく全部食べていただけたという結果を生むのだと思っています。本年は多職種の連携を強化します。最後に、福祉に働く現状の変化と光道園の対応をお話しします。日本では二〇二五年高齢者人口が

ピークを迎えます。それまでに必要な福祉従事者は、百万人必要と推計され、確保できる従事者は多く見積もって八十万人といわれています。就労人口が減っていく中で福祉に働く人材確保が一番の命題となっています。それでは光道園としてどう取り組むかです。福祉の職場と他業種との差別化を鮮明にしたイメージアップを図ります。そして、勤めれば給与などの待遇面は勿論のこと、自らが成長出来る体系を構築し、モチベーション高く働き甲斐を感じてもらえるような職場作りを目指したいと考えています。本年は、人材確保、子育て支援の二環として、事業所内保育所の設置計画立案を行います。

光道園にとりまして今まで経験したことのない新たな環境におかれています。変化に対応出来る体制を作ってまいります。あくまでも光道園らしさを基本としてまいりますので今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

～平成 25 年度 ひかり会・総会のご案内～

ひかり会は、光道園障害者施設（老人施設を除く）に入居されている方のご家族を中心に会員相互の親睦をはかり、入居者の支援向上と施設の発展に努めることを目的として活動しています。

さて、平成 25 年度第 11 回ひかり会総会を下記の通り開催いたしますので、是非ともご参加いただきますようご案内いたします。

- ◆日 時：9月22日（日） 13:30～16:00
- ◆会 場：光道園 鯖江事業所 NN ホール
福井県鯖江市和田町9-1-1 TEL：0778-62-1234
- ◆議 事：平成 24 年度事業報告および決算報告および平成 25 年度予算（案）他
- ◆講演会：福井県総合福祉相談所 判定課長 光真坊浩史氏（内容：福祉行政説明）

「点字毎日文化賞」五十年を振り返る

企画調整室 室長 加藤佳子

第八回（一九七一年）受賞の光道園初代中道益平

園長は（七八年、享年七十歳）全国初となる盲重複障害者のための施設を作ったことが高く評価された。二十六歳で失明した経歴をバネに五七年、身体障害者更生施設を設立。そこで視覚と知的の障害のある男性が喜んで軽作業をする姿を見て、盲重複障害者施設の必要性を感じ、六六年に「ライトセンタ―」を開設。その

思いは著書に「社会からも、時には

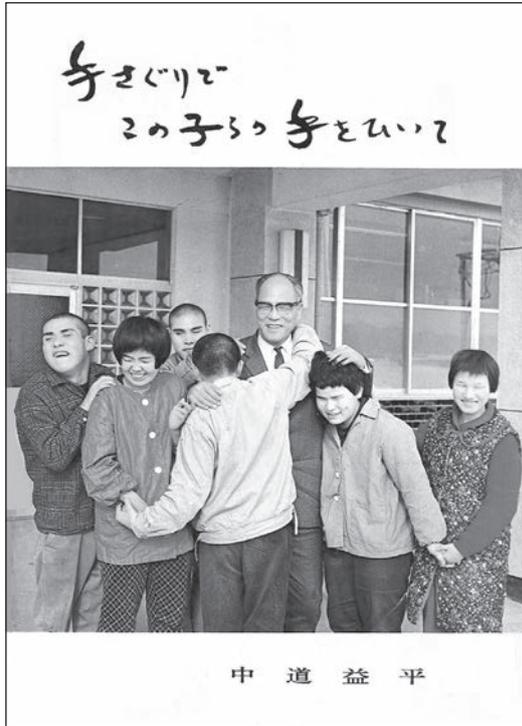
家庭からも見放された人の埋没した人間性を発掘する。それが近代施設運営の重要点」と記されている。

元園長の山内進さんは「発想が豊かで、開拓の事業に取り組む行動力は

すごかった」と振り返る。その通り、以後もすべての障害者を救うという理念の下、障害の段階に応じた施設を相次いで整備した。進取の精神を受け継いだ光道園は今、高齢者向けを含め七施設、約六百人が暮らす大規模施設となっている。

（今年四月、毎日新聞社発行の【点字毎日活字版

）掲載



初代中道益平園長著
「手さぐりでこの子らの手をひいて」
(昭和 43 年発行)

がその日を楽しみにされています。ゆったりと教わり、最後に点字で打った歌詞をみんなで歌います。それがまた何とも言えず良い響きなのです。自分も仲間に入れてもらいたいという気持ちになりました。

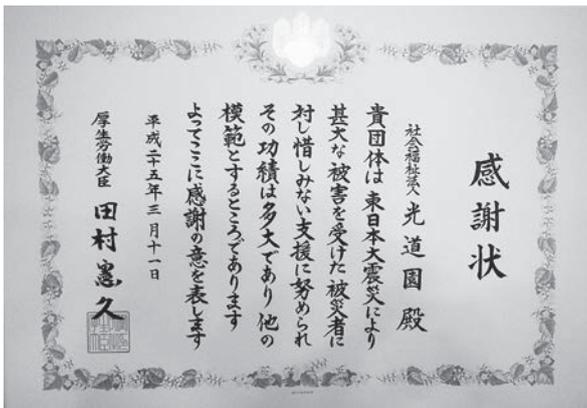
様の信子先生は以前点字図書館に勤務され点字指導等をしていました。がポランティアとして実施して下さり、ライトワークセンターや療護一課のメンバー約十数名の方

厚生労働省から 感謝状をいただきました。

平成二十五年三月、厚生労働省は、東日本大震災における被災者の支援活動を行った団体等に対し、厚生労働大臣から感謝状を贈呈することになり、福井県においては光道園が感謝状をいただきました。当園では、職員が県の派遣で他の支援者と共に、避難所である気仙沼中学校へ赴き、入浴の付き添い、歩行の手助け、散歩などコミュニケーションを取りながら寄り添う支援活動を五日間行ったことに対して贈呈されました。

震災から二年の月日が流れましたが、被災地では、未だあらゆる支援が必要とされています。そのような中、今年度新たに県からの依頼があり、園内で希望者を募っているところです。

改めて、東日本大震災で被災されました皆様にお見舞い申し上げます。





一緒に走る

～つつじマラソンに参加して～

ライトホープセンター（援護二課） 田中慶朋

私は今回視覚障害者であるTさんと初めてつつじマラソンに参加することになりました。

本番当日は晴天に恵まれ、絶好のマラソン日和でした。

自分たちの番になり、陸上競技場に集まりました。後ろの方に陣取り、スタートを待ちました。久しぶりの感覚で、カウントダウンにドキドキしました。ピストルの音が鳴り、皆が一斉に走り出しました。

分かってはいましたが、あっという間に取り残され、グラウンド半周で二人ボッチになってしまいました。競技場を出ると、観客が脇を連ねるコースとなり、声援を一身に浴びることとなりました。「ガンバレ！。ガンバレ！」という声が恥ずかしくて私は頭を上げることができませんでした。一方でTさんはその声援の一声一声に「はい。はい。」としっかりと応えながら走っていました。

2キロのコースは競技場の外周にあたり、観客の間を通り過ぎると、コースを支持してくれる人しかいなくなりました。その間は孤独な時間が続きました。

1キロを通過して、Tさんの足取りが重たくなっているのを感じました。それでも、時折声を掛けていただき「ガンバレ！」の声にTさんは「はい。」としっかりと応え続けていました。

外周を走り終え、競技場に戻ってくると、再び大きな声援に包まれました。しっかりと声援に応えているTさんと一緒に走っている私は、重たくなったTさんの足取りが軽くなっていくのを感じました。声援の音がTさんの走るエネルギーになっていることを一緒に走って強く感じました。

最後は一緒にゴールを迎えました。「お疲れ様。」と私はTさんに声を掛けました。「どうだった。」と私が聞くと「来年もまた走りたい。」Tさんはそう答えました。私はその思いがよくわかった気がしました。

視覚障害者の方にとって声援を受けながら走るということは本当に勇気と元気をもらえることを感じました。

日々の生活の中で私はどれだけ声をかけられたかな、そんな思いにもさせられました。日々声を掛け合い、共に歩んでゆく職員でありたい、そう強く思った大会でした。



「第二十九回光が丘ハウス杯ゲートボール大会」開催

第一光が丘ハウス（高齢福祉一課）施設長

多田 芳朗



平成二十五年五月十五日（水）「第二十九回光が丘ハウス杯ゲートボール大会」が、越前町長 内藤俊三様、越前町社会福祉協議会長 宮崎泰治様、越前町ゲートボール協会長 向當 誠様をお迎えして越前町ゲートボール場で開催されました。

参加チームは越前町内の十四チーム、光が丘ハウス利用者チーム及び女性の課長職を中心とした職員チームの計十六チームでの白熱した熱戦や笑い溢れる楽しい試合が繰り広げられました。初心者の職員チームではフライングプレイ有り、ズッコケプレイ有



優勝チームの「江波タッチ」様
おめでとうございます



さあ、ここからが正念場 チームワークでがんばるぞ

利用者チームは初戦が同点による第一ゲート通しで惜しくも敗れて勝利は飾れませんでした。活躍した選手が他のメンバーや職員から称賛され、嬉しくて涙する場面が印象的でした。

思えば、私は記念すべき第一回大会の企画・運営を担当しました。当時は参加チーム数も多く、会場のライン貼りでテープと股釘で計測したラインを固定して六コートは整備したように記憶しています。審判員の資格を持った職員も数十名おり、職員で全コート of 審判を賄いました。また、お好み焼き、たこ焼きなどの模擬店を開いて参加チームの皆様に召し上がって頂きました。

このように今日までに色々な趣向での大会がありました。こうして二十九回を迎えられたのも一重に地域の皆様のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

来年度は第三十回大会を迎えます。節目の大会として参加者の皆様に益々楽しんで頂けるような大会にしてまいりますので、皆様方には健康の維持・増進とゲートボール技術の精進に努めて頂き、来年の「競技開始、プレイボール」とコールのかかる緊張の瞬間をご一緒出来る事を楽しみにしております。

最後に、今回の大会にご支援、ご協力いただいた関係者の皆さん、参加チームの皆さん、誠にありがとうございました。

リで「ゲートボールの難しさ、そして楽しさを初めて知り、皆さん凄いなあと実感です」と笑顔で語る姿がありました。

結果は決勝トーナメント優勝チーム「江波タッチ」、親善トーナメント優勝チーム「上糸生」でした。





「手づくり工房 フ・クレール」 がオープンしました

フ・クレール（就労生活支援室）

吉田 茂

「手づくり工房 フ・クレール」が、四月一日に越前町（朝日地区）にオープンしました。

お店の前には、「手づくり工房 フ・クレール」のかわいらしいネコの看板がみなさんをお迎えしています。

お店の扉を入っていくとまずは、かわいらしい二人の女性がいます。私たち「フ・クレール」の看板娘たちです。電動車いすの彼女は担当しています。電卓一級の腕前です。もう一人の彼女は、みなさまに買って頂いたパンを袋詰めしてお渡ししています。おいしいコーヒーも運んでくれますよ。

さて、お店のカウンターの奥には、一生懸命、働いている私たちの姿がガラス越しに見えます。手前の作業場がパンの作業場になっています。奥がクッキーの作業場です。みなさんにおいしいパンとクッキーを届けるために頑張っています。

あと、「フ・クレール」の二階では委託作業場があり、箱組み立ての軽作業などを行っています。

次にオープン当日のことをご紹介したいと思います。

当日は晴れの天気で、私たち「フ・クレール」のオープンをお祝いしてくれているようでした。晴れ



オープン当日の風景



店内の風景

の天気のようにたくさんのお客さんの行列が出来ていました。オープニングのプレゼント用に用意したハート型のクッキーは、私たちの心配をよそに全部すぐになくなってしまいました。また、朝から準備していたたくさんのお客さんはオープンから一時間もしないうちになくなってしまいました。再度次のパンが焼きあがる昼三時まで、お店を閉めることになってしまいました。パンの作業場ではうれしい悲鳴を上げていました。

「手づくり工房 フ・クレール」では、おいしいパンとクッキー、そして豆からひいた温かいコーヒーをご用意してお待ちしています。

是非とも利用者の皆さんが頑張っている姿を一度、お店にお越し下さい。みなさんのお越しを心よりお待ちしております。お店のどこにネコがいるか探しに来て下さい！

とらいとの二ヶ月を振り返って

とらいと(就労生活支援室)

河村 恵津子

とらいとが開設されて、早二ヶ月が過ぎようとしていきます。

入居者の皆様の余暇の過ごし方は、仕事が終わって戻ってこられると、すぐ入浴、ひと眠り、ゲーム、テレビ、カラオケ、ダンス、パソコン、買い物に行く人といったように、余暇を満喫されておられます。



カラオケ大会のようす

四月二十七日夜、カラオケ大会の時は、皆さん歌が大好きで一人何曲も歌われて楽しいひと時を過ごされて、またカラオケ大会を開催してほしいと声が出ている程楽しめました。

また料理を作るのに、おいしく作れるかどうかとても心配でしたが、利用者の方々から「うちそうさまでした。」「おいしい物ばかり、食べているとバチが当たる。」という声をいただき、宿直職員からも「この食事はおいしいから楽しみにして泊まりに来ています。」と言われると大変嬉しく思います。

反面、入居者のほとんどの皆様が太って来ており、ちょっと心配になります。先日利用者の方が、食事に出てこられないのでお部屋に呼びに行くとお腹が痛いからお粥が欲しい、それも、かつお、梅、卵入り、それぞれを作って欲しいと言われ、好みのお粥を作って食べてもらっています。残った食材で一品おかずを付け足したり、畑でとれた野菜・果物や漬物を提供したりと家庭では当たり前のことが皆さんに喜ばれています。

また、食事を作る時、配膳、食器洗いの手伝いを積極的にして下さって大変助かっています。



オープン記念食事会のようす

が、困っていることは、皆さん手伝いたくて喧嘩になることです。

皆様から世話人は「おばちゃん」で通っております。

少しずつではありますが、頼りにされるようになってきていますので、今後も積極的に皆様の中へ入って行きたいと思えます。

平成二十五年四月～五月採用

新任職員の紹介

- ① 趣味や特技など
- ② 好きな言葉
- ③ 最近あった印象的な出来事

鯖江事業所

総務一課



山本沙耶香さん (管理栄養士)

- ① 野球観戦・ライブに行くこと
- ② 「一期一会」
- ③ 国家試験に向けて勉強を頑張る、終わった時の達成感を感じたことです。



佐藤 遼一さん (生活支援員)

- ① 弓道・アニメ鑑賞
- ② 「一期一会」中学生だった時に知り、本当に良い言葉だと思いました。
- ③ 学科の男子五人と卒業旅行で九州に七泊八日の旅をし、そのうち三日間は車内泊をするなど苦々しく良い思い出になりました。

高島 愛さん (生活支援員)



です。

- ① バスケットボール
- ② 「努力は素質を超える」高校の女子バスケットの顧問の先生の名言です。
- ③ 三年生を送る会が大きかった

山本 マヤさん (看護職員)



- ① パン・ケーキ作り
- ② 「どうにかなる!!」
- ③ 光道園に入社したことです。

ライフトレーニングセンター

療護一課

内倉 優大さん (生活支援員)



- ① スポーツ全般・特に野球・ボウリングや麻雀なども。
- ② 「なんとかなる」
- ③ 卒業旅行で沖縄へ旅行したことです。

青木 愛実さん (生活支援員)



開いてくださり大変嬉しかったです。

- ① よさこい・絵を描くこと
- ② 「あなたに会えて良かった」
- ③ ポランテアをさせて頂いていた施設のスタッフさんや、利用者様のご家族の方が送別会を

下宮あすかさん (生活支援員)



- ① バレーボール・猫とたわむれること。
- ② 「やればできる」努力すれば必ず達成できると自分を励まします。
- ③ 京都へ旅行に行きました。行きたい場所があったのですが、反対方向へ歩いていて気付いた時は焦ったことです。

牧野 悠里さん (生活支援員)



す。

- ① スポーツ・体を動かす・音楽鑑賞
- ② 「全力・一生懸命」
- ③ 猫が泥だらけで帰ってきたこと、運転免許がとれたことです。

療護一課

水島 俊幸さん (生活支援員)



- ① ドライブ・車いじり・野球
- ② 「死ぬ気でやってみる。(やれよ。死なねーから。」「やるときはやれ!!」
- ③ 車を買ったことです。

坂下 愛佳さん (生活支援員)



大かつ緻密で素敵なお所だったことです。

- ① バスケットボール・海外旅行
- ② 「Difference is wonderful.」(みんな違って、みんないい)
- ③ 三月にカンボジアへ行ってきました。アンコールワットは壮

西野さつきさん (生活支援員)



- ①料理・お菓子作り
- ②「可能性への挑戦」
- ③八号線でエンストしたことです。

八木 椋子さん (生活支援員)



- ①ソフトテニス・書道
- ②「一生懸命」
- ③運転免許を取得したことです。

朝日事業所

ライトホープセンター

援護一課

吉村 侑也さん (生活支援員)



- ①ドライブ
- ②「なんとかなる」
- ③買ったDVDが中古なのに定価と同じ値段だったことです。

武内 悠理さん (生活支援員)



- ①趣味は、絵を描くこと・音楽
特技は、人の絵を描くこと
- ②「欠点があるから自分が嫌い
なんではなくて、自分が嫌いだ
から特徴が欠点に見える」
- ③自分の運転でおばあちゃんの家まで行ったこと

です。

福原 悠さん (生活支援員)



- ①バレーボール・ウエイクボード
- ②「一度きりの人生 楽しまなきゃ損です」
- ③約一週間の間に、人の(身近な)生死に触れた事です。

援護一課

後藤 輝晃さん (生活支援員)



- ①本を読むこと・小説を書くこと
- ②「いつも楽しくー！いつも笑顔!!」
- ③高校の卒業式と、自動車運転免許をとれたことです。

第二光が丘ハウス

高齢福祉一課

揚原 慎子さん (支援員・介護職員)



- ①マスコット作り・遊戯会
- ②「後ろばかり振り向いても誰も喜ばあしない」好きなマンガの一言です。
- ③光道園の研修です。

森 麗夏さん (支援員・介護職員)



- ①テニス・写真・音楽鑑賞
- ②「明日(あした)があるさ、明日(あす)がある」
- ③自分の運転で友達と遠出したこと

ことです。

第三光が丘ハウス

高齢福祉一課

山下有紀美さん (介護職員)



- ①音楽鑑賞・読書
- ②「失敗を恐れないこと」専門学校の実習担当の先生にいただいた言葉です。
- ③専門学校を卒業したことです。

デイサービスセンターさざんかホール 地域生活支援課

上田 卓也さん (介護職員)



- ①卓球・映画鑑賞
- ②「勝ちに不思議あり、負けに不思議なし」これは、高校生だった時に、卓球部の監督からいただいた言葉で、絶対に諦めない執着心があれば奇跡をも呼び起こすという意味です。
- ③専門学校の卒業式があったことと、そのなかで私は各賞の代表としてステージに上がり、賞状を受け取る役割があったことです。



情報開示 社会福祉法人 光道園

貸借対照表

平成 25 年 3 月 31 日現在

(単位：千円)

法人全体

勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
資産の部				負債の部			
流動資産	1,312,315	1,369,392	△ 57,077	流動負債	320,876	197,547	123,329
現金預金	896,765	969,598	△ 72,833	未払金	290,890	158,382	132,508
未収金	411,016	397,285	13,731	預り金	25,234	34,940	△ 9,706
仮払金	2,799	0	2,799	仮受金	605	572	33
売掛金	932	1,273	△ 341	買掛金	4,147	3,653	494
商品・製品	456	377	79				
仕掛品	10	9	1				
原材料	337	850	△ 513				
固定資産	4,858,830	4,492,430	366,400	固定負債	243,019	260,572	△ 17,553
固定資産（基本財産）	3,550,656	3,701,778	△ 151,122	設備資金借入金	145,000	167,500	△ 22,500
建物（基本）	3,348,732	3,499,854	△ 151,122	退職給与引当金	98,019	93,072	4,947
土地（基本）	201,924	201,924	0				
その他の固定資産	1,308,175	790,654	517,521	負債合計	563,895	458,119	105,776
土地	49,491	49,491	0	純資産の部			
建物	1	1	0	基本金	969,413	969,413	0
構築物	74,434	71,846	2,588	基本金	969,413	969,413	0
機械及び装置	3,354	3,410	△ 56	国庫補助金等特別積立金	1,631,947	1,697,808	△ 65,861
車輛運搬具	15,118	9,556	5,562	国庫補助金等特別積立金	1,631,947	1,697,808	△ 65,861
器具及び備品	73,427	73,400	27	その他の積立金	450,250	420,800	29,450
建設仮勘定	281,247	7,508	273,739	施設整備積立金	45,000	30,000	15,000
権利	1,441	0	1,441	建設積立金	362,000	387,000	△ 25,000
ソフトウェア	11,333	11,447	△ 114	役員退職謝金準備積立金	3,250	3,800	△ 550
投資有価証券	250,060	50,090	199,970	土地取得積立金	40,000	0	40,000
措置施設繰越特定預金	45,000	30,000	15,000	～次期繰越活動収支差額～	2,555,640	2,315,683	239,957
本部積立預金	405,250	390,800	14,450	～うち当期活動収支差額～	269,407	207,979	61,428
その他の固定資産	98,019	93,105	4,914	純資産合計	5,607,249	5,403,704	203,546
資産合計	6,171,145	5,861,823	309,322	負債・純資産合計	6,171,145	5,861,823	309,322

〔脚注〕 減価償却費の累計額

2,210,784 千円

役員名簿

平成 25 年 4 月 1 日現在

理事長	藤本 武司
常務理事	荒木 博文
理事	松山 幸雄
理事	角 佳津見
理事	木村 良平
理事	齋藤 邦雄
理事	土肥 芳一
理事	渡辺 恭行
理事	孝久 忠央
理事	春木 誠一
監事	野村 茂三
監事	白井 尊志

評議員名簿

平成 25 年 4 月 1 日現在

評議員	藤本 武司
評議員	荒木 博文
評議員	松山 幸雄
評議員	角 佳津見
評議員	木村 良平
評議員	齋藤 邦雄
評議員	土肥 芳一
評議員	渡辺 恭行
評議員	孝久 忠央
評議員	春木 誠一
評議員	松木 健一
評議員	矢納 正人
評議員	熊谷 忠男
評議員	渡辺 恵
評議員	小野 和男
評議員	田中 伸幸
評議員	岩尾多希子
評議員	江守 勝
評議員	山崎ふみ子
評議員	杉本 博
評議員	児川 文隆

財産目録

平成 25 年 3 月 31 日現在

(単位：千円)

資産・負債の内容	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	896,765
前払金	2,799
売掛金	932
商品・製品	456
仕掛品	10
原材料	337
未収金	411,016
流動資産 合計	1,312,315
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
建物	3,348,732
土地	201,924
基本財産 合計	3,550,656
(2) その他の固定資産	
土地	49,491
建物	1
構築物	74,434
機械及び装置	3,354
車輛運搬具	15,118
器具及び備品	73,427
建設仮勘定	281,247
権利	1,441
ソフトウェア	11,333
投資有価証券	250,060
措置施設繰越特定預金	45,000
本部積立預金	405,250
その他の固定資産	98,019
その他の固定資産 合計	1,308,175
固定資産 合計	4,858,830
資産合計	6,171,145
II 負債の部	
1. 流動負債	
買掛金	4,147
未払金	290,890
預り金	25,234
仮受金	605
流動負債 合計	320,876
2. 固定負債	
設備資金借入金	145,000
退職給与引当金	98,019
固定負債 合計	243,019
負債合計	563,895
差引純資産	5,607,249



資金収支計算書

平成 25 年 3 月 31 日現在

(単位：千円)

科目名	本年度予算額	本年度決算額	差異
(就労支援事業活動による収支)			
就労支援事業収入	25,580	25,602	△ 22
就労支援事業活動収入計	25,580	25,602	△ 22
就労支援事業支出	26,720	26,187	533
就労支援事業活動支出計	26,720	26,187	533
就労支援事業活動資金収支差額	△ 1,140	△ 585	△ 555
(福祉事業活動による収支)			
介護保険収入	552,300	553,099	△ 799
利用料収入	500	533	△ 33
措置費収入	272,150	272,442	△ 292
受託金収入	17,560	17,728	△ 168
自立支援費等収入	1,629,880	1,638,077	△ 8,197
養成研修事業収入	730	720	10
経常経費補助金収入	4,190	4,428	△ 238
寄附金収入	138,830	139,611	△ 781
雑収入	32,480	37,257	△ 4,777
受取利息配当金収入	4,090	4,129	△ 39
会計単位間繰入金収入	49,010	49,000	10
経理区分間繰入金収入	220,250	213,263	6,987
福祉事業活動収入計	2,921,970	2,930,287	△ 8,317
人件費支出	1,603,600	1,599,179	4,421
事務費支出	292,050	287,364	4,686
事業費支出	401,250	395,682	5,568
経理区分間繰入金支出	220,250	213,263	6,987
会計単位間繰入金支出	49,010	49,000	10
利用者負担軽減額	340	299	41
福祉事業活動支出計	2,566,500	2,544,787	21,713
福祉事業活動資金収支差額	355,470	385,500	△ 30,030
(施設整備等による収支)			
施設整備等補助金収入	20,910	20,875	35
施設整備等寄附金収入	10	0	10
施設整備等収入計	20,920	20,875	45
固定資産取得支出	329,660	328,930	730
施設整備等支出計	329,660	328,930	730
施設整備等資金収支差額	△ 308,740	△ 308,055	△ 685
(財務活動による収支)			
投資有価証券売却収入	0	30	△ 30
積立預金取崩収入	226,800	226,400	400
その他の収入	4,580	6,598	△ 2,018
財務収入計	231,380	233,028	△ 1,648
借入金元金償還金支出	22,500	22,500	0
投資有価証券取得支出	200,000	200,000	0
積立預金積立支出	255,880	255,850	30
その他の支出	11,660	11,512	148
財務支出計	490,040	489,862	178
財務活動資金収支差額	△ 258,660	△ 256,834	△ 1,826
予備費	34,770	0	34,770
当期資金収支差額合計	△ 247,840	△ 179,974	△ 67,866

事業活動収支計算書

(自) 平成 24 年 4 月 1 日 (至) 平成 25 年 3 月 31 日

(単位：千円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
(就労支援事業活動収支の部)			
就労支援事業収入	25,602	27,689	△ 2,087
就労支援事業活動収入計	25,602	27,689	△ 2,087
就労支援事業支出	27,280	27,326	△ 46
就労支援事業活動支出計	27,280	27,326	△ 46
就労支援事業活動収支差額	△ 1,678	363	△ 2,041
(福祉事業活動収支の部)			
介護保険収入	553,099	528,692	24,407
利用料収入	533	550	△ 17
措置費収入	272,442	269,377	3,065
受託金収入	17,728	17,256	472
自立支援費等収入	1,638,077	1,583,397	54,680
養成研修事業収入	720	0	720
経常経費補助金収入	4,428	50,487	△ 46,059
寄附金収入	139,610	43,326	96,284
雑収入	37,257	46,479	△ 9,222
引当金戻入	6,598	10,142	△ 3,544
国庫補助金等特別積立金取崩額	86,147	90,444	△ 4,297
福祉事業活動収入計	2,756,639	2,640,150	116,489
人件費支出	1,599,179	1,576,736	22,443
事務費支出	287,364	266,222	21,142
事業費支出	395,682	386,532	9,150
減価償却費	195,808	192,268	3,540
引当金繰入	11,512	11,414	98
利用者負担軽減額	299	301	△ 2
福祉事業活動支出計	2,489,844	2,433,473	56,371
福祉事業活動収支差額	266,795	206,677	60,118
(事業活動外収支の部)			
受取利息配当金収入	4,129	939	3,190
会計単位間繰入金収入	49,000	46,000	3,000
経理区分間繰入金収入	213,263	133,464	79,799
事業活動外収入計	266,392	180,403	85,989
会計単位間繰入金支出	49,000	46,000	3,000
経理区分間繰入金支出	213,263	133,464	79,799
事業活動外支出計	262,263	179,464	82,799
事業活動外収支差額	4,129	939	3,190
経常収支差額	269,246	207,979	61,267
(特別収支の部)			
施設整備等補助金収入	20,875	7,353	13,522
特別収入計	20,875	7,353	13,522
固定資産売却原価・処分損	0	1	△ 1
国庫補助金等特別積立金積立額	20,681	7,353	13,328
その他の特別損失	34	0	34
特別支出計	20,715	7,354	13,361
特別収支差額	160	△ 1	161
当期活動収支差額	269,406	207,978	61,428
(繰越活動収支差額の部)			
前期繰越活動収支差額	2,315,683	2,277,704	37,979
当期末繰越活動収支差額	2,585,090	2,485,683	99,407
その他の積立金取崩額	226,400	0	226,400
その他の積立金積立額	253,850	170,000	85,850
次期繰越活動収支差額	2,555,640	2,315,683	239,957

!!! 苦情受付、ヒヤリハット・事故報告状況 !!!

苦情解決申出人別分類表 (過去 3 年間)

	H22 年度	H23 年度	H24 年度
利用者	17	21	33
家族	8	17	11
職員	1	6	8
ボランティア	0	0	0
業者	1	1	0
関係者	0	0	3
その他	1	0	1
計	28 件	45 件	56 件

平成 24 年度ヒヤリハット・事故 施設 (課・室) 別集計表 (種別上位)

	転倒	投薬ミス	滑落	転落	他傷
ライフ	14	24	2	2	8
ホーブ	7	1	1	2	1
ワーク	10	4	0	0	1
光ワーク	2	0	0	0	1
第一・二ハウス	14	1	2	2	0
第三光ハウス	48	16	19	21	5
地域生活支援課	8	2	0	0	1
生活機能支援室	2	0	0	1	0
計	105 件	48 件	24 件	28 件	17 件

当園における苦情受付状況は、平成 12 年 6 月 1 日の社会福祉法の一部改正に伴う第 82 条の規程により、平成 12 年 9 月 18 日に苦情受付窓口を設け、各施設に責任者・受付担当者に加え第三者を委嘱し体制を整え、平成 17 年 4 月 1 日には園内の苦情解決取扱規程、苦情及び事故対応における手順書とフローチャートを設け利用者に周知し、体制の強化を図ってまいりました。

平成 24 年度は、法人全体で 56 件 (昨年度比 11 件増) の報告がありました。年度末には苦情解決第三者委員会を開催し、助言や苦情解決への改善、評価、解決方法などを検討し、同様の再発防止と及び啓発に努めています。

一方、ヒヤリハット・事故報告は、平成 16 年度より施設事故予防対策委員会を設け、利用者の安全な生活環境を目指して、重大事故予防の為に事例の検討と対策、職員の事故予防に対する意識高揚に努めています。上記表の項目につきましては、平成 24 年度は、222 件 (昨年度比 46 件減) の報告がありました。いずれも当園ホームページに情報公開しております。URL <http://kodoen.or.jp>



越前陶芸祭りに参加しました

ライトワークセンター（セルフ課） 出垣内祥平

いつも光道園ライトワークセンターの「陶華星」を応援していただき、誠にありがとうございます。

先日5月の25、26、27日に宮崎陶芸村にて第33回「越前陶芸祭り」が開催されました。私たち「陶華星」も陶芸祭りに参加させていただきました。日頃の行いが良いせいか、利用者がテメル坊主を作ってくれたおかげか、天候にも恵まれ3日間を通して快晴で、むしろ暑いくらいでした。



陶華星の出店風景

今回は手練りの花瓶や明かりとりなどの大作、利用者が一つひとつ小さなレンガを作って、それらを一つずつ積んで作った植木鉢などの新作を始め、一輪挿しなどの花瓶類、皿や茶碗、湯呑みなどの食器類などを販売させていただきました。多くの方に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。



この植木鉢のレンガは僕が作りました

また、お客様から「毎年光道園の作品を買っている」、「この一輪挿しは家で使っている」という声も沢山いただきました。

た。このことから「陶華星」が皆様から愛され、皆様によって支えられていることを改めて実感致しました。

自分の作品が並べられている風景を見学しました



最終日には「陶華星」で働いている利用者も見学に来られました。自分たちの作品が店舗に並べられている様子を確認し、「あれは私が作ったものだ」と来ていたお客様に訴えていました。

利用者は、普段の作業で、「作品を完成させるまでの過程」で完結してしまっており、「完成した作品を買ってもらおう」という最終目標のイメージを持ちにくいという現状があります。陶芸祭りで自分たちの作品が売れている様子を見ることは、「陶芸品をお客様に買ってもらって、笑顔になってもらうために作る」というように利用者の意識を変え、陶芸に対するモチベーションも上がったようでした。



私たちが作った作品が売れてうれしい!

一方で、自分のつくった作品が売れていない様子も目の当たりにすることになり、「どうして売れないんだ、もっともっと売りたいのに、もっともっと頑張る」と、利用者にとっては売れるにしろ、売れないにしろ陶芸に対するモチベーションが上がっていたようでした。



越前陶芸村でのワンシーン

今回は陶芸祭りに出店することができ、無事終わることができたのは、職員の皆様、ボランティアの方や地域の方々のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。来年の出店に向けて、「陶華星」はもう動き出しています。ぜひ一度、私たちの仕事の成果を見にきて下さい。皆様のご来店を心からお待ちしております。

社会福祉法人 光道園の施設

社会福祉法人 光道園 法人本部	鯖江市和田町 9-1-1	養護老人ホーム・第一光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライトワークセンター	鯖江市和田町 9-1-1	養護(盲)老人ホーム・第二光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・光が丘ワークセンター	丹生郡越前町朝日 22-2-2	特別養護老人ホーム・第三光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライトホープセンター	丹生郡越前町朝日 22-3-1	通所介護事業所・サービスセンターさざんかホール	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライフトレーニングセンター	鯖江市和田町 9-1-1	訪問介護事業所・ヘルパーステーションさざんか	丹生郡越前町朝日 22-7-1
日中生活介護事業・たねのいえ	鯖江市和田町 9-1-1	居宅介護支援事業所・さざんかホール	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援センター・こうどうえん	鯖江市和田町 9-1-1	越前町障害者支援センター・さざんか	丹生郡越前町朝日 22-7-1
		一体型共同生活介護事業所 とらいと	丹生郡越前町朝日 1-505
		就労支援事業所 フ・クレール	丹生郡越前町朝日 1-504